

## 障害者支援

愛媛大学は、中期計画の中で「身体に障害のある学生の受け入れ」を目標に掲げています。この目標を達成するために、「障害者修学支援委員会」を設置し、聴覚や運動機能など身体に障害がある学生を対象とした支援について全学的に取り組んでいます。具体的には、共通教育科目に「ボランティア活動」を設けるなど、障害者支援ボランティアの育成と教員へのFD活動に取り組んでいます。



バリアフリー調査



学生による学生支援シンポジウム

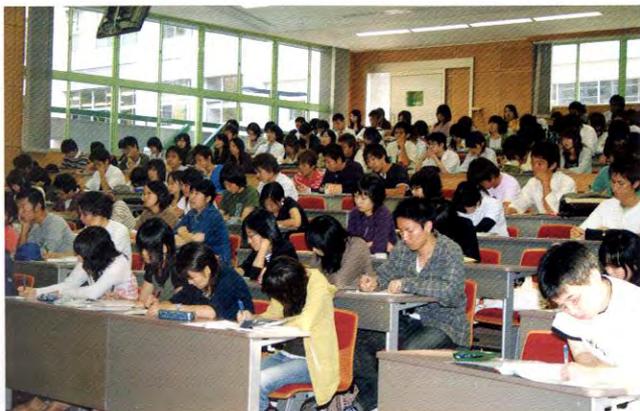
## スチューデント・キャンパス・ボランティア

本学では、教職員とともにキャンパスにおいて様々な活動を行うボランティア（スチューデント・キャンパス・ボランティア：SCV）を組織化しています。「学生による学生支援」を目指し、障害学生支援ボランティアやキャリア支援ボランティアなど、現在9団体がキャンパスで元気に活

動しています。SCVの取組は、平成16年度文部科学省「特色ある大学支援プログラム（特色GP）」に採択されました。写真は、平成17年度の「学生による学生支援シンポジウム」の様子です。

## キャリア支援

本学では、3年生を中心に就職活動の情報を周知する「就職ガイダンス」、就職活動を進める上で必要となる様々な取組（例えば、エントリーシートの記入や面接）を実践的にサポートする「就職セミナー」を開催しています。また、業界研究なども学外から講師をおよびして頻繁に開催しています。1・2年生には「進路ガイダンス」や共通教育でのキャリア教育科目も開講しており、充実したキャリア支援体制を築いています。



就職ガイダンス

# キャンパス散策(愛媛大学)



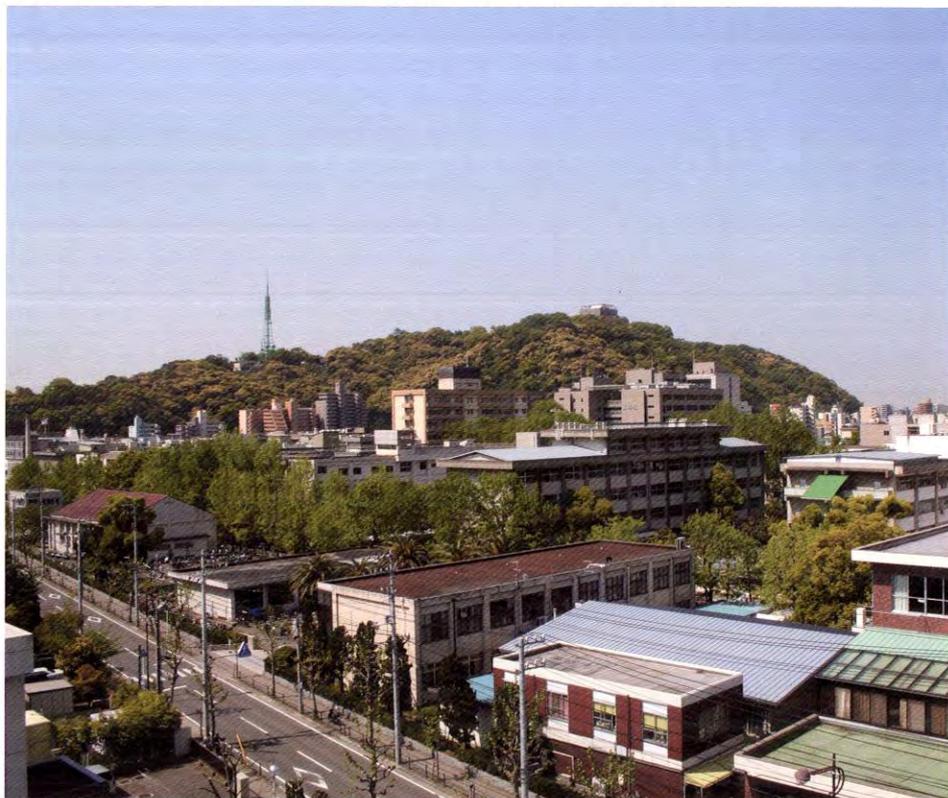
## 愛媛大学の沿革

愛媛大学は、昭和24年に新制国立大学として、松山高等学校、愛媛師範学校、愛媛青年師範学校、新居浜工業専門学校を母体に文理学部、教育学部、工学部の3学部で発足しました。昭和29年には松山農科大学を母体とする農学部、昭和48年には新設の医学部が加わり、現在では法文学部、教育学部、理学部、医学部、工学部、農学部の6学部と大学院7研究科からなる学生約1万人を擁する四国最大の総合大学となりました。その間、社会の知的・文化的水準の向上に貢献するとともに、様々な分野で多くの優れた人材を世に送り出してきました。

平成16年4月1日、愛媛大学は国立大学法人愛媛大学となり、国の一機関の立場を離れ独立した経営体として再出発することになりました。この大変革期にあたり、「地域にあって輝く大学」を目指す愛媛大学は、平成17年3月、「愛媛大学憲章」を制定し、地域や国民の皆さまの期待に応える大学を創造しています。

愛媛大学は「学生中心の大学」を目指し、平成16年12月に学生支援センターを設置しました。学生支援センターが中心となり、学生が入学から卒業まで安心して充実した大学生活を送ることができる支援体制を構築しています。

愛媛大学ホームページアドレス <http://www.ehime-u.ac.jp/>





インターンシップ合同説明会

## インターンシップ

本学では、松山市内にある他の3大学と協力・連携の下、「愛媛県内4大学インターンシップ連絡協議会」を設置し、愛媛県下におけるインターンシップを実施しています。また、各学部においても独自に専門性の高いインターンシップを実施しており、その他個人で自由応募の形態で参加した学生を含めれば、毎年200名程度の学生がインターンシップに参加しています。写真は、愛媛県内4大学インターンシップ連絡協議会が行った合同説明会の開会式です。

## サークルリーダー研修

本学では、課外活動でのピア・エデュケーションの促進を企図してサークルリーダーの育成・研修に力を入れています。「サークルリーダー研修」は、平成17年度で34回目の開催となり、毎年多くのサークルリーダーやその候補者が受講しています。平成17年度は、夏休みに国立大洲青年の家で2泊3日の研修を行いました。非常にタイトなスケジュールの中、サークルリーダーたちはコミュニケーション能力の育成など多くのプログラムを受講しました。



サークルリーダー研修



学生何でも相談窓口

## 学生相談の制度と窓口

本学には、全学生に対して担当教員を割り当て、学生生活を支援する制度があります。担当教員は、学生一人ひとりの状況に応じて履修指導を行い学生生活について助言を与えています。ほとんどの教員がオフィスアワーを設定しており、学生が教員のもとを訪れやすい雰囲気が形成されています。

保健管理センターには、専門医や臨床心理士が常駐し、健康や心の相談に対応しています。また、学生の様々な相談に対応する窓口として「学生何でも相談窓口」を設置し、学生が必要な時にいつでも質問に来れるようにしています。本学には、学生ボラン



保健管理センター



大学院生による学習支援

ティア団体による相談室や、大学院生による学習支援などもあり、学生相互の相談活動が盛んです。